

# 要援護者実態調査実施にご協力を

## ● 要援護者実態調査の目的

要援護者実態調査は、次の事を目的に行なっています。

①ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者等が、安心して暮らせる街づくりを目的に行なっています。（要援護者）

②災害時における高齢者等の安否確認、避難誘導等の活動に備えます。（災害時要援護者）調査は、民生委員・児童委員、福祉委員等の協力を得て実施します。

調査を通して、要援護者等の福祉課題や地域の実態を把握し、得られた情報をもとに必要な支援に繋げ、地域見守り活動の充実と地域福祉の向上を図ります。

## ● 調査の概要

調査は、「要援護者」、「災害時要援護者」、「65歳以上のひとり暮らし高齢者」、「75歳以上の高齢者二世帯」、「障がい者」を対象に、原則、調査員による訪問聞き取り調査を実施し、地域の実態把握を行います。

### （1）調査の対象者

①65歳以上のひとり暮らし高齢者

②75歳以上の高齢者二世帯

③障がい者

→身体障害者手帳1・2級（内部機能障がいを除く）及び療育手帳A判定の人

④要援護者

→本人の申し出及び調査員の判断により、日常的な見守りが必要と判断される人

⑤災害時要援護者

→本人の申し出及び調査員の判断により、災害時に援護（安否確認、避難誘導等）が必要と判断される人

### （2）調査実施期間

毎年、11月1日～11月30日

### (3) 調査員

- ①民生委員・児童委員
- ②福祉委員（「調査員証」により市長の任命を受けた人）
- ③民生協力員（「調査員証」により市長の任命を受けた人）

### (4) プライバシーの保護について

誰でも他人に知られたくないプライバシーがあることを調査員は十分理解した上で、知り得た情報は、その個人の困っている問題を解決することのみに活用します。ただし緊急を要する時や、その人の生命や身体の安全が脅かされる恐れがあると判断した時は、生命や身体の安全を守ることを優先します。

## 平成29年度 地区別要援護者等の状況（報告）

単位：人

区分 地区名	要援護者	災害時 要援護者	65歳以上 一人暮らし	75歳以上 二人暮らし	障がい者
高砂	143	208	575	185	176
荒井	77	98	470	176	183
伊保	52	104	676	188	200
中筋	42	53	293	76	76
曾根	112	100	458	134	191
米田	97	165	992	326	324
阿弥陀	79	90	332	159	142
北浜	32	52	217	83	72
計	634	870	4,013	1,327	1,364

※数値は、調査基準日（H30.2.28）現在のものです。

※75歳以上高齢者二世帯の数は、世帯数を表します。